

# 平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月10日

上場会社名 浜井産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6131 URL <http://www.hamai.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 忠

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 山畑 喜義

TEL 03-3491-0131

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	2,136	△71.4	△585	—	△585	—	△353	—
21年3月期第3四半期	7,456	—	426	—	362	—	48	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△10.86	—
21年3月期第3四半期	1.48	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	7,429	2,771	37.3	85.23
21年3月期	9,383	3,111	33.2	95.69

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,771百万円 21年3月期 3,111百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.50	—	0.00	3.50
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	△53.5	△400	—	△425	—	△241	—	△7.41

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4～5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4～5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	32,624,000株	21年3月期	32,624,000株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	110,147株	21年3月期	107,193株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	32,515,384株	21年3月期第3四半期	32,527,123株
--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響により、景気の低迷が続く中、政府による経済対策により、一部に緩やかな回復の兆しが見られるものの、企業収益の大幅な悪化や雇用環境の悪化など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当工作機械業界におきましても、アジアを中心とした外需に需要回復の兆しはあるものの厳しい受注環境が続いております。

このような経営環境下、当社もアジア市場での販売強化や業務の効率化による徹底したコスト削減等を実施してまいりましたが、経営成績は下記のようになりました。

#### (1) ラップ盤

300ミリ径半導体シリコンウエーハ向につきましては、ウエーハ需要も回復傾向にあり、メーカー各社の機械稼働率は、上昇傾向にあるものの、新規設備投資実施にまでは至っておりません。一方でデジタル家電市場は、政府のエコポイント政策等の効果もあり、回復が鮮明となつてきております。

今や情報通信技術が、生産分野のみならず、あらゆる産業分野と結びつき、ラップ盤の新しい需要が、本格化しつつあります。

各種ガラス基板向、水晶部品加工向の新規設備投資計画が、有力顧客より徐々に開始して売上に寄与しつつあり、売上高は629百万円(前年同四半期比87.8%減)となりました。

#### (2) ホブ盤、フライス盤、レンズ加工機

アジア地域でのホブ盤の売上にレンズ加工機の売上也加わり、さらに一部出荷が下半期にずれ込んだフライス盤売上也加わり、売上高は417百万円(前年同四半期比43.0%減)となりました。

#### (3) CMP・CMG

半導体需要の回復が新規の設備投資需要喚起までには至らず、売上高は85百万円(前年同四半期比71.0%減)となりました。

#### (4) 部品、歯車

顧客の既納機の稼働率は、デジタル家電業界に関連した顧客がまず本格回復し、その他の業種も上昇しつつあり、消耗部品販売に工程変更による改造部品の販売が加わり、売上高は1,003百万円(前年同四半期比22.0%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の受注高は2,652百万円(前年同四半期比40.6%減)、売上高は2,136百万円(前年同四半期比71.4%減)、営業損失は585百万円(前年同四半期は営業利益426百万円)、経常損失は585百万円(前年同四半期は経常利益362百万円)、四半期純損失は353百万円(前年同四半期は四半期純利益48百万円)となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態の分析

##### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は3,205百万円で、前事業年度末に比べ2,107百万円減少しております。受取手形及び売掛金の売上債権の減少902百万円、現金及び預金の減少703百万円が主な要因であります。

##### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は4,224百万円で、前事業年度末に比べ153百万円増加しております。主に繰延税金資産の増加により投資その他の資産が251百万円増加しております。

##### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,611百万円で、前事業年度末に比べ598百万円減少しております。支払手形及び買掛金の仕入債務の減少363百万円が主な要因であります。

##### (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は3,047百万円で、前事業年度末に比べ1,015百万円減少しております。長期借入金の減少997百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、2,771百万円で、前事業年度末に比べ340百万円減少しております。四半期純損失により利益剰余金が353百万円減少しております。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ703百万円減少し、当第3四半期会計期間末には、502百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は484百万円(前年同四半期比36.3%減)となりました。

収入の主な内訳は、順調な回収による売上債権の減少額902百万円であり、支出の主な内訳は、税引前四半期純損失553百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は26百万円(前年同四半期は158百万円の支出)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出45百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果減少した資金は1,158百万円(前年同四半期は858百万円の減少)となりました。

これは、主に長期借入金の返済によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成21年11月12日発表の通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 【簡便な会計処理】

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
1 棚卸資産の評価方法	当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。 また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。
2 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
3 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、第2四半期会計期間末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、第2四半期会計期間において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第3四半期累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>製品保証引当金</p> <p>当社は、前事業年度の事業年度末より、製品保証引当金を計上することに変更したため、前第3四半期会計期間末は製品保証引当金を計上していません。</p> <p>なお、前第3四半期会計期間末に製品保証引当金を計上した場合、前第3四半期会計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ、8,426千円増加しており、前第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ28,178千円減少しております。</p>

② 【表示方法の変更】

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
(四半期損益計算書関係)	<p>前第3四半期累計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「助成金収入」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第3四半期累計期間では区分掲記することとしております。</p> <p>なお、前第3四半期累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「助成金収入」は300千円あります。</p>

	当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
(四半期貸借対照表関係)	<p>「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)が適用となることに伴い、前第3四半期会計期間末において、「原材料」として掲記されていたものは、当第3四半期会計期間末から「原材料及び貯蔵品」として掲記しております。</p>
(四半期損益計算書関係)	<p>前第3四半期会計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「助成金収入」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第3四半期会計期間では区分掲記することとしております。</p> <p>なお、前第3四半期会計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「助成金収入」は300千円あります。</p>

③ 【追加情報】

当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	502,818	1,206,558
受取手形及び売掛金	948,719	1,851,689
商品及び製品	5,601	—
仕掛品	1,552,023	1,814,337
原材料及び貯蔵品	69,250	88,159
その他	127,015	379,300
貸倒引当金	△288	△27,645
流動資産合計	3,205,140	5,312,399
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	996,329	1,049,830
土地	2,276,497	2,276,497
その他(純額)	302,631	346,840
有形固定資産合計	3,575,458	3,673,169
無形固定資産		
投資その他の資産	1,936	1,936
投資有価証券	139,895	120,800
その他	528,456	296,547
貸倒引当金	△20,927	△20,939
投資その他の資産合計	647,423	396,407
固定資産合計	4,224,818	4,071,514
資産合計	7,429,959	9,383,914
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	933,026	1,296,935
短期借入金	340,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	110,000	110,000
製品保証引当金	6,934	14,729
その他	221,267	287,890
流動負債合計	1,611,228	2,209,556
固定負債		
長期借入金	2,302,500	3,300,000
退職給付引当金	480,673	498,405
その他	264,294	264,294
固定負債合計	3,047,467	4,062,699
負債合計	4,658,696	6,272,255

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,050,186	2,050,186
利益剰余金	744,624	1,097,651
自己株式	△18,833	△18,599
株主資本合計	2,775,977	3,129,237
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,087	△5,339
繰延ヘッジ損益	△12,802	△12,239
評価・換算差額等合計	△4,714	△17,579
純資産合計	2,771,262	3,111,658
負債純資産合計	7,429,959	9,383,914

(2) 【四半期損益計算書】  
 【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	7,456,612	2,136,119
売上原価	6,255,933	2,225,588
売上総利益又は売上総損失(△)	1,200,678	△89,469
販売費及び一般管理費		
販売手数料	26,841	26,172
荷造運搬費	146,524	38,458
役員報酬	88,242	68,666
従業員給料	112,783	102,026
従業員賞与	42,295	13,020
退職給付費用	11,379	9,367
貸倒引当金繰入額	3,211	—
その他	343,103	238,168
販売費及び一般管理費合計	774,382	495,879
営業利益又は営業損失(△)	426,296	△585,349
営業外収益		
受取利息	1,036	341
受取配当金	3,603	1,915
不動産賃貸料	5,408	4,153
助成金収入	—	42,524
物品売却益	6,899	736
その他	7,322	11,611
営業外収益合計	24,270	61,283
営業外費用		
支払利息	49,126	46,750
為替差損	443	3,654
貸倒引当金繰入額	8,291	—
支払手数料	28,551	8,675
その他	2,025	2,576
営業外費用合計	88,438	61,656
経常利益又は経常損失(△)	362,128	△585,722
特別利益		
固定資産売却益	110	—
関係会社株式売却益	—	4,374
貸倒引当金戻入額	—	27,369
償却債権取立益	—	5,157
特別利益合計	110	36,901
特別損失		
固定資産除却損	24	—
投資有価証券評価損	137,502	5,000
特別損失合計	137,526	5,000
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	224,712	△553,821
法人税、住民税及び事業税	147,411	4,571
法人税等調整額	29,101	△205,365
法人税等合計	176,513	△200,794
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,198	△353,027



## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	224,712	△553,821
減価償却費	144,370	130,491
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,502	△27,369
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	—	△7,795
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15,365	△17,731
受取利息及び受取配当金	△4,639	△2,257
支払利息	49,126	46,750
為替差損益 (△は益)	4,924	3,217
支払手数料	28,551	8,675
固定資産売却損益 (△は益)	△110	—
固定資産除却損	24	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	137,502	5,000
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△4,374
売上債権の増減額 (△は増加)	2,540,550	902,969
たな卸資産の増減額 (△は増加)	173,915	263,863
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,011,583	△363,909
その他	△210,803	41,828
小計	1,103,411	425,538
利息及び配当金の受取額	4,639	2,257
利息の支払額	△39,779	△35,472
法人税等の支払額	△278,796	△38,503
法人税等の還付額	—	141,522
その他の支出	△29,770	△11,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	759,704	484,170
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△150,461	△45,082
有形固定資産の売却による収入	300	—
投資有価証券の取得による支出	△351	△686
関係会社株式の売却による収入	—	5,724
短期貸付けによる支出	△1,070	△150
短期貸付金の回収による収入	2,038	29,924
その他	△9,059	△16,293
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,603	△26,563

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	480,000	160,000
短期借入金の返済による支出	△697,000	△320,000
長期借入れによる収入	3,800,000	1,060,000
長期借入金の返済による支出	△4,217,500	△2,057,500
配当金の支払額	△222,349	△395
その他	△1,868	△233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△858,718	△1,158,129
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,924	△3,217
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△262,542	△703,739
現金及び現金同等物の期首残高	1,449,081	1,206,558
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,186,538	502,818

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## 【生産、受注及び販売の状況】

## (1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を機種別に示すと、次のとおりであります。

機種	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ラップ盤	635,841	△86.7
ホブ盤	308,389	△35.9
フライス盤	76,500	△61.0
レンズ加工機	32,800	△3.5
CMP・CMG	85,321	△71.0
部品	977,901	△21.9
歯車	25,465	△25.8
合計	2,142,219	△69.7

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績を機種別に示すと、次のとおりであります。

機種	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ラップ盤	1,139,671	△56.2	1,085,860	+27.4
ホブ盤	322,009	△16.9	151,470	△20.9
フライス盤	28,250	△69.1	23,000	△76.8
レンズ加工機	67,600	—	66,800	+108.8
CMP・CMG	5,221	△96.6	3,900	△98.6
部品	1,066,101	△11.2	296,000	△3.8
歯車	23,965	△21.5	5,300	△35.4
合計	2,652,818	△40.6	1,632,330	△8.1

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を機種別に示すと、次のとおりであります。

機種	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ラップ盤	629,741	△87.8
ホブ盤	308,389	△35.9
フライス盤	76,500	△64.9
レンズ加工機	32,800	△3.5
CMP・CMG	85,321	△71.0
部品	977,901	△21.9
歯車	25,465	△25.8
合計	2,136,119	△71.4

(注) 1 主な輸出先及び輸出販売高に対する割合は次のとおりであります。  
 ( ) 内の数値は総販売実績に対する輸出高の割合であります。

輸出先	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
東南アジア	3,488,405	66.9	673,610	51.5
東アジア	1,589,285	30.5	571,423	43.7
その他	133,511	2.6	63,597	4.8
計	5,211,202 (69.9%)	100.0	1,308,630 (61.3%)	100.0

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
KONICA MINOLTA GLASS TECH(M) SDN. BHD.	1,617,417	21.7	291,883	13.7
シチズンセイミツ(株)	817,768	11.0	153,117	7.2
HOYA GLASS DISK VIETNAM LTD.	1,531,009	20.5	93,594	4.4

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。